

i-constructionの活用

■ICT[※]の全面的な活用

建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す取り組み(i-construction)の3本柱のひとつとして、測量、設計、施工、検査時の一連のステップでICT[※]を活用する工事を推進

※ICT: (Information and Communication Technology = 情報通信技術)

■ICT建設機械による施工



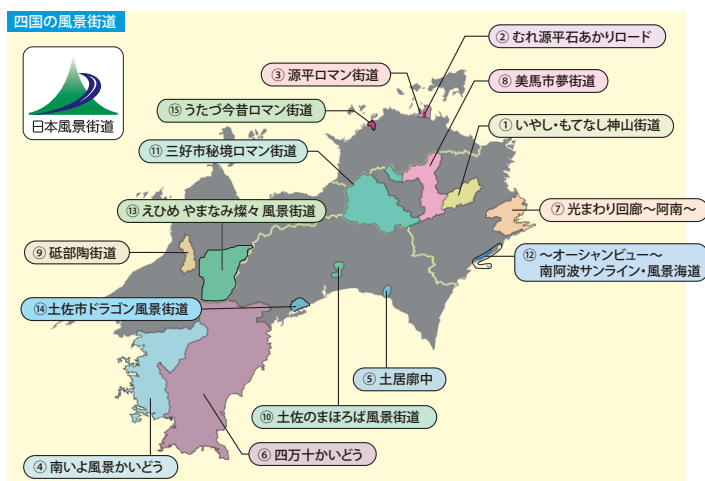
3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御し、建設現場のIoT[※]を実施

※IoT: (Internet of Things) 様々なモノにセンサーなどが付され、ネットワークにつながる状態

四国の風景街道

■国土文化の再興に向けて、文化資源の保存や保護、活用だけでなく、美しい国土景観の形成、地域活性化や観光振興を有機的につなぎ、道を舞台に多様な主体の協働により行われるものであり、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成される取り組み

■平成19年度に風景街道の登録が始まり、全国各地で様々な取り組みが実施されており、四国では令和6年3月末時点で15ルートが登録



風景街道の活動

「美しい景観・風景を創出する活動」

- 美しい景観への改善
(景観診断)
(沿道樹木の伐採)
- 植栽・道路清掃活動



植栽・道路清掃活動
(えひめ・やまなみ燦々風景街道)

「資源を活かし、蘇らせるための活動」

- ワークショップ等の開催
- 観光拠点へのアクセス向上
- 歴史遺産等を活かした地域づくり
- 古道の整備・保全



歴史風景学習
(土居廊中)

「来訪者をもてなし、楽しませる活動」

- 語り部・ボランティアガイド
- 観光に寄与する情報発信
- 案内看板の整備
- ビューポイントの整備



道の駅への案内看板設置
(土佐のまほろば風景街道)

美しい景観・魅力ある地域へ



むれ源平石あかりロード



南いよ風景かいどう